

目的

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

運動の進め方

実施機関・団体は、相互に連携して地域や組織・団体の特性を生かした計画を策定して積極的に取り組み、県民総参加の運動として展開されるよう努めましょう。
また、運動終了後もこの取組が持続されるよう努めましょう。

重点

1

子どもと高齢者の交通事故防止

1 推進項目

子どもや高齢者に交通安全意識の浸透を図るとともに、子どもや高齢者に対する保護気運の醸成を図るため、次の項目を推進します。

- (1) 子どもと高齢者に対する保護気運の醸成
- (2) 反射材用品等の利用促進
- (3) 効果的な交通安全教育
- (4) 安全な交通環境づくり

2 実施項目

高齢者は

- 外出する際は、反射材の付いたものを利用するなど、運転者から見えやすい服装に心掛けましょう。
- 高齢運転者は、自分の身体能力や体調に合った運転に努めましょう。
- 警察や自治体などが開催する交通安全講習会等に参加しましょう。
- 70歳以上の運転者は「高齢運転者マーク」を付けて運転しましょう。

地域・職場では

- 地域全体で子どもや高齢者を守ろうとする気運を高めましょう。
- 職場の朝礼や出発時の声かけなどで、思いやりのある運転を指導しましょう。
- スクールゾーンやシルバーゾーンなど、子どもや高齢者が多く利用する地域の交通安全点検を行いましょう。

運転者は

- 歩いている子どもや高齢者の近くを通過するときは、減速、徐行するなど“思いやり”のある運転に心掛けましょう。
- 「高齢運転者マーク」の付いた車に対しては、幅寄せ、無理な追い越しなどをせず、余裕ある運転に心掛けましょう。

家庭・学校では

- 子どもや高齢者が外出する際は、車に注意するよう声を掛けたり、明るく目立つ色の服装や反射材を着用するよう促しましょう。
- 通学路等の交通危険箇所や道路を通行するときの危ない行動などを話し合い、交通安全の意識を高めましょう。

実施機関・団体では

- 街頭で子どもや高齢者への積極的な保護・誘導を行いましょう。
- 交通事故の発生実態を踏まえた広報啓発活動を進めましょう。
- 各種会合のときなどいろいろな機会を通じて交通安全教育を推進しましょう。

重点

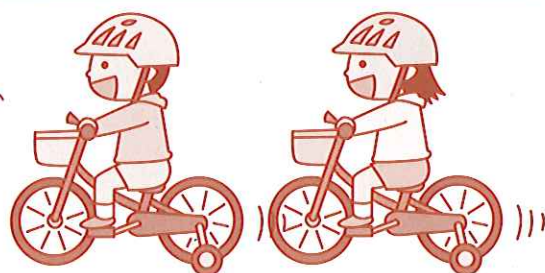
2

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

1 推進項目

歩行中・自転車乗用中の交通事故が増加する夕暮れ時と、夜間の交通事故を防止するため、次の項目を推進します。

- (1) 反射材用品等の利用促進
- (2) 歩行者や自転車の交通ルールの遵守
- (3) 夕暮れ・夜間の危険性周知のための広報啓発



2 実施項目

運転者は

- 夕暮れ時は早めにライトを点灯し、雨天・曇天時は終日点灯するなど、歩行者や自転車に自己の存在を知らせましょう。
- 夜間、対向車や前車がないときは、ライトを上向きで運転しましょう。
- 自転車も車両であることを自覚し、早めにライトを点灯しましょう。

地域・職場では

- 夕暮れ時や夜間の視認性低下等の危険性や運転上の注意点等を話し合いましょう。
- 夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車利用者の安全な通行を確保するための交通安全点検を行いましょう。
- 反射材用品の利用に努めましょう。

家庭・学校では

- 「自転車安全利用五則」など自転車の正しいルールやマナーについて指導しましょう。
- 反射材用品の利用や明るい色の服装に努めましょう。
- 子どもが自転車に乗るときは、ヘルメットを着用させましょう。

実施機関・団体では

- 夕暮れ時や夜間の危険性、反射材用品や明るい色の服装等の着用効果などを認識・理解させる参加・体験型交通安全講習を受講させ、啓発を図りましょう。
- 「夕暮れ時の早め点灯」「雨天・曇天時の終日点灯」のほか、「夜間のライトのこまめな切替え」を啓発しましょう。

重点

3

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

1 推進項目

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用を徹底し、交通事故発生時における被害の防止・軽減を図るため、次の項目を推進します。

- (1) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用義務についての周知徹底
- (2) シートベルトとチャイルドシートの着用効果についての理解の促進
- (3) チャイルドシートを車に正しく装着・使用するための啓発

2 実施項目

運転者は

- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。
- チャイルドシートは、幼児の体格に合ったものを使用しましょう。
- チャイルドシートは、正しく取り付けましょう。

家庭・学校では

- シートベルトとチャイルドシートの着用効果について、家族みんなで話し合い、正しい着用の実践とその習慣づけを図りましょう。
- 保護者に対しシートベルトとチャイルドシートの必要性や効果を指導し、正しい着用を呼び掛けましょう。

地域・職場では

- 朝礼や各種行事においてシートベルトとチャイルドシートの着用効果について周知を図りましょう。
- シートベルトとチャイルドシートの着用について繰り返し指導し全ての座席での着用を徹底しましょう。
- 出勤・退社時に、シートベルト着用の点検を行うなど 着用の徹底を図りましょう。

実施機関・団体では

- あらゆるメディアを活用して、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用が義務付けられていることを広報しましょう。
- シートベルトとチャイルドシート着用時の安全性が大きく向上することなど、着用啓発につながる情報の提供に努めましょう。
- 講習会などでシートベルトやチャイルドシートの着用効果について啓発を図りましょう。

1 推進項目

飲酒運転の悪質性・危険性をはじめ、交通事故の悲惨さを広く県民に訴え、県民一人ひとりに飲酒運転根絶意識が浸透するよう次の項目を推進します。

- (1) 飲酒運転根絶のための広報啓発
- (2) 飲酒運転根絶のための環境づくり
- (3) 飲酒運転根絶のための交通安全教育



2 実施項目

運転者は

- 少しの量でも、酒を飲んだら絶対に運転はやめましょう。
- 飲酒の予定があるときには、その日は公共交通機関を利用するなど、車を運転して行かないように心掛けましょう。
- 前日の酒が体に残っている状態で運転すれば飲酒運転になることを認識しましょう。

家庭・学校では

- 飲酒運転の危険性、交通事故の悲惨さを日ごろから話し合ひましょう。
- 車を運転する人には、絶対に酒を出さないようにしましょう。
- 酒を飲んだときの迎えなど交通手段について家庭で話し合っておきましょう。

地域・職場では

- 地域のイベントや会合で「飲んだら乗るな！乗るなら飲むな！」などの飲酒運転根絶意識の浸透を図りましょう。
- 職場で飲酒運転の悪質性を話し合ったり、アルコールチェッカー等を利用するなど、職場ぐるみで飲酒運転の根絶に取り組み、規範意識を高めましょう。
- 飲食店などの酒類提供業者は、運転する客人に酒類を提供しないようにしましょう。
- ハンドルキーパー運動を推進しましょう。

実施機関・団体では

- いろいろなメディアを活用して、飲酒運転根絶の広報を推進しましょう。
- 飲酒ゴーグルなどを活用した参加・体験型の講習を実施し、危険性についての認識を高めましょう。
- 運転者への酒類提供、飲酒者への車両提供、飲酒者が運転する車両への同乗は違反であることを広報しましょう。

県下統一行事

9月21日(水)	広報活動強化の日	歩行者やドライバーに交通安全運動への積極的な参加を呼びかけます。
9月22日(木)	飲酒運転根絶啓発強化の日	飲酒運転の根絶に向けた啓発活動を推進します。
9月26日(月)	保護誘導活動強化の日	子どもや高齢者等の保護誘導活動を推進します。
9月30日(金)	交通事故死ゼロを目指す日	住民一人ひとりが交通事故に注意して行動するよう呼びかけます。
	街頭指導活動強化の日	ドライバーや歩行者、自転車利用者に対する街頭指導を強化します。

「夕暮れ時の早め点灯、雨天・曇天時の点灯」で交通事故を防ぎましょう!

夕暮れ時は、薄暗くなり周りが見えにくくなります。
早めにライトを点灯することの最大の効果は、自分の存在を他の車や歩行者、自転車利用者にはっきり知らせることができる点です。
また、早朝や雨天・曇天時、トンネル内等でも周囲が見えづらい状況となりますので、ライトを点灯して運転しましょう。



平成23年長崎県交通安全年間スローガン

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

平成23年

秋の全国交通安全運動

実施要綱

実施期間

9月21日(水)~9月30日(金)

スローガン

運転の
マナーが光る
早めのライト

交通安全図画最優秀作品(平成22年度知事賞)
長崎県立長崎西高等学校2年(当時)

橋口 健人 さんの作品

重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

特別広報

夕暮れ時における早め点灯、雨天・曇天時の点灯



主唱 長崎県交通安全推進県民協議会